

①イベントタイトル

「カワラノギク」の自生地を訪ねて Part 1
～シル・ミル・ヤッテミル、自生地見学と除草体験～

②イベント実施日

2013年6月8日(土) 10:30～15:00

③当日の大まかなスケジュール (200～300字以内)

相模川の急こう配の河岸段丘をくだり、10時30分、丸石が広がる神沢河原に集合。長谷川代表の挨拶で開会し、まず写真撮影。11時には会の顧問でもある明治大学の倉本教授のお話を伺い、自生地を見学して除草作業に移りました。当日は好天に恵まれ、日蔭の無い河原では辛い作業になりましたが、緑区長やまちづくりセンターの所長さんも一緒に汗を流して下さいました。12時には湘南小学校の体育館に移動して昼食休憩。1時から当初最後に予定していたビデオ説明会を繰り上げて開催し、2時から湘南小学校東河原で市博物館の元学芸員山口氏による河原の観察会と除草作業を行いました。3時には予定通り全てのプログラムを終了しました。

④写真 (5点以上) キャプション入り



神沢河原で集合写真



顧問の倉本先生のお話



神沢河原で除草作業



カワラノギクの花が一輪



湘南小学校の体育館でビデオ説明会



湘南小学校東河原での観察会と除草作業

⑤当初のイベント概要からの変更点

当日は炎天下の作業となったため、当初最後に予定していたビデオ説明会を昼食後に繰り上げて開催し、薄曇りになった午後 2 時からの時間帯を湘南小学校東河原の観察会及び除草作業に変更した。

⑥イベントを実施してレポート内容

- ・参加人数 35 名
- ・アンケート回答数 30 名
- ・満足度の平均値 (%) 100%

⑦参加者の感想 アンケートに記入していただいた感想の中から 5 名以上ピックアップ

- ・環境問題に関心が持てました。
- ・カララノギクに関して色々を知ることができてよかった。
- ・始めてカララノギクの存在を知りました。
- ・大勢の皆さんと一緒に楽しい一日でした。倉本先生や山口先生からいろいろお話していただけて良かったです。
- ・本当に感動した！現地を見ただけでも最高！
- ・移動にチャーターバスを利用できて非常に助かりました。
- ・この時期に咲くことが無い花を見ることができて大満足。ただ、こんなことは初めてだそうで、異常気象ではないかとちょっと心配。

⑧イベントを実施して苦労した点

- ・イベント開催まで時間がなく、またチラシ作成に手間取ってしまったため、十分な広報ができなかった。

⑨イベントを実施してよかった点

- ・イベント開催にあたり、団体間で打合せを重ね、お互いの意思を確認できたことは、その後の協力体制に大いに役立った。
- ・カララノギクの存在を知らなかった市民の方々に、その生態や絶滅の危機にある事を知っていただくことができた。

- ・通常であれば、数名で行っていた除草作業を、30名を越す人数で行えたことは、高齢化の進む団体にとっては非常に有効であった。
- ・イベントを開催するにあたり、市内の企業とのコラボレーションを強化することができた。こち湯相模原店には、事前にカララノギクの活動を紹介するパネル展示会や当日飲物の差し入れをいただき、また、ローソン大島中ノ原店には、駐車場とトイレの提供にご協力いただいた。

⑩特に寄付が活きたと感じた点

- ・バスをチャーターできたことにより、現地までの移動がスムーズに行えた。特に足を確保できない方やシニアの方々にとっては大変有効だった。

①イベントタイトル

「カワラノギク」の自生地を訪ねて Part 2

～よみがえったカワラノギクに囲まれて、花見会を楽しもう～

②イベント実施日

2013年10月30日(水) 10:30～14:00

③当日のたまかなスケジュール (200～300字以内)

10:30 湘南小学校隣の空き地にて受付を済ませ、揃って河原の自生地に向かう。

11:00 長谷川代表、損保ジャパン本社 CSR 部鴨居氏、相模原市緑区長高部氏の挨拶で開会。
プログラム説明と注意事項を伝達し、写真撮影。

11:30 群生したカワラノギクの花畑の中で、各自お花見と昼食を楽しむ。

13:00 希望者は石ころに絵を描くストーンペインティングを行う。
植物観察をしながら、数ヶ所の自生地を周り空き地に戻る。

14:00 予定通りプログラムを終了。

④写真 (5点以上) キャプション入り



「カワラノギク」の自生地前で記念撮影



「カワラノギクを守る会」長谷川代表の挨拶



一面に咲き誇る「カワラノギク」に歓声があがる



「カワラノギク」とキアゲ



「カワラノギク」の花畑でお弁当



ストーンペインティングに熱中

⑤当初のイベント概要からの変更点

当初開催を予定していた10月26日(土)は、台風27号の影響で延期となった。代替日は、現地の環境及びスタッフの人員確保難から、やむを得ず10月30日(水)の平日に設定し実施した。

⑥イベントを実施してレポート内容

- ・参加人数 60名
- ・アンケート回答数 32名
- ・満足度の平均値(%) 100%

⑦参加者の感想 アンケートに記入していただいた感想の中から5名以上ピックアップ

- ・満開のカワラノギクに感動しました。誰かが守らないと絶えてしまう花を、多くの力で守ることは大切な事と思いました。
- ・とてもきれいなカワラノギクの花畑を見れて良かった。
- ・参加者がもっと増えるといいですね。
- ・きれいなカワラノギクの群生している姿に感動。その陰にはいろんな方々の支えがあることがわかって余計に美しく思えた。
- ・個人的に活動されている方に色々と尋ねることができて良かった。
- ・ギフチョウやカワラノギクといった絶滅危惧種は人間が為した環境破壊が原因。せめて環境特区等決めて(裏丹沢、青野原、青根地区)自然保護を行政に働きかけよう。
- ・カワラノギク、初めてみましたが素晴らしかったです。
- ・普段の管理、大変ですね。ご苦労様です。

⑧イベントを実施して苦労した点

- ・台風で開催日を延期したため、代替日の日程調整、参加者への通知と、新たな参加者確保に苦労した。

⑨イベントを実施してよかった点

- ・開催日を平日に変更したにもかかわらず約 60 名の参加があり、群生したカワラノギクを堪能していただいた。
- ・カワラノギクの存在を知らなかった多くの方に、その生態や絶滅の危機にある事、更に、どうして守られてきたのかを知っていただくことができた。
- ・相模原市の「広報さがみはら」、神奈川新聞、タウンニュース等、メディアで大きく取り上げていただき、「カワラノギク」の活動を広く市民に告知することができた。
- ・「カワラノギクを守る会」と「さがみはら市民会議」のそれぞれの団体の強みが活かされ、団体間相互の協力体制と結束力がより堅固になった。
- ・イベントを開催するにあたり、絵画教室の講師の協力でストーンペインティングの指導を受けることができた。これをきっかけに今後も引き続き協力いただけることになった。

⑩特に寄付が活きたと感じた点

- ・バスをチャーターできたことにより、現地までの移動がスムーズに行えた。特に足を確保できない方やシニアの方々にとっては大変有効だった。
- ・当日の様子をビデオ撮影し、映像で記録を残すことができた。
- ・団体の名入りのジャンパーやベスト、のぼりを作成し、団体の PR を強化することができた。